

H 1.38

67/14
C

DIRECTOR MYER WILL SPEND TWO DAYS HERE NEXT WEEK

Dillon S. Myer, WRA Director, will confer with appointed personnel and evacuees here Thursday and Friday of next week after speaking at the Salt Lake City conference of evacuee leaders representing the various relocation centers.

Project Director, L. T. Hoffman will bring Mr. Myer here next Wednesday evening by automobile from the state capital.

His Topaz itinerary:

Thursday - 9 a.m. - meeting with the staff relocation committee; 3:30 p.m. - meeting the entire appointed staff; 8:00 p.m. - informal reception with division heads in the project director's home.

Friday -morning, 9 a.m. - high school assembly; group meetings with the relocation, welfare, and evacuee property staffs;
Afternoon - Meeting with Topaz Community Council and other evacuee leaders;
Evening - 7:30 - Mass meeting in auditorium.

H/1. 38

TENTATIVE SCHEDULE

FOR

Mr. Dillon S. Myer

March 24, 1944
Friday

8:00 a.m. Breakfast

D.H.

9:00 a.m. Relocation Group

Project Director's
office10:00 a.m. City Council Chrm.
& Vice Chrm.

PD's office

11:00 a.m. Selective Service
Committee

PD's office

1:00 p.m. Lunch

D.H. =

Block 8-9-E-F

32-10-00B

2:00 p.m. Visit Schools
Talk to Jr. & Sr.
High Pupils

✓ Mr. Sanford in charge

4:00 p.m. Quarterly Meeting
All Appointive StaffAdmin. Rec. Hall
Mr. Lafabregue
in charge

6:30 p.m. Dinner

Mr. Russell Bankson

8:30 Evening
"Go for Broke"

D.H. 38

March 25, 1944
Saturday

8:00 a.m. Breakfast

9:00 a.m. Meet Resident Teach-Auditorium
ers and other
Resident Workers,
Block Managers, etc.

11:00 a.m. Cabinet Meeting

PD's Office

1:00 p.m. Lunch

2:30 p.m. Council Meeting

Council Chamber

6:30 p.m. Dinner

Evening

March 26, 1944
Sunday

11:00

Breakfast
Geo. Ochikubo

Dr. Simpson
Apt. - 203B

Lunch

Mr. Roscoe Bell

Trip around Project
with Roscoe Bell

4:30 p.m.
to 5:30 p.m.

Dinner

Dining Hall

Staff
Evening

Adm. Rec. Hall

March 27, 1944
Monday

8:00 a.m.

Breakfast

? a.m.

Leave for Salt Lake

44 1.38

ユタ-州大審院判事

ゼムス・ウルフ氏の演説
於トバス轉住所市会委員士

Justice James H. Wolfe,

Supreme Court of Utah.

An address delivered at Topaz

March 10, 1945

(轉住所聯合大會に於て述べられた)

ユタ州高等法院セオウル判事(演説)

私は只今轉住所大會議の新役員に対し祝意を表す

ると同時に前任委員と共に任務を完遂されん事を望むも

つてあります。轉住所内の種々問題も有効に處理し、安寧

秩序を維持して居られん事は實に稱讃の價するものであらう。

諸君が任じ慣れたホームから又事業を根底から覆され、見知ら

ぬ遠隔の地に轉送されて既に二年有余、然も其の間何等重大

な乱雜もなく星霜を過し居る事は殆ど信じられぬ程であり

ます。されば抑も諸君の自創心、忍耐力、勇氣又市民の價値

を良く物語つて居る。私は轉住民諸君及びW.R.A.管理部

委員に対し深甚の敬意を拂ふものであります。諸君は所収

に於て民主的政體を採用し、民主主義を諸君の間で活用

して居る。諸君の只今経験は後日諸君が出所し、新社会

に於て市民としての役割を果す上に大に助となる事と思ふべき。

各轉住所が一九四六年一月二日に閉鎖される事を承

知して居るが、諸君も之れに就て甚を憂慮される事と思ふ。

即ち其は諸君が再び住み慣れた所内生活を離れて、又知

遇を得る友人達と別れを告げ住み慣れた新社会に出

なければならぬ事を意味するものであって、諸君は將來の出来

事に就て懸念されて居られる。参事員諸君の考へる問題は

而轉住所に關する一件に集注され、或は其の任務は單に各個人
の家族に對し、而轉住上の助言を與へるばかりでなく、轉住先
に於ても所内で練へられ、其の經驗を以て新社會に從應
し、パイニアとして勇氣を鼓吹する事であると思ひます。私は
諸君の前途に横はる問題に就ては決して過小視しなかつ、私は
諸君が過去三、四年間味つた其の苦い經驗に想ひ考へるの
であります。

諸君が各自の社會ガリ、又ホームから追放され、又タフな場
合迄に慘忍的な短時間の内の永年の親友と別れ離れ、或
は積年刻苦業を上げた財産を打ち棄て、見知らぬ山間
僻地の收容され、然も鉄柵の内に不便窮屈な一室を與
へられた。諸君は漸く此の生活に仕慣れたと思ふ頃、而も他
の社會に轉送され、又苦い新生活に從應せねばならぬ
事となった。パイニア的生活は青年や冒險的な人々には適
することゝも、中年を越へた我々には餘世を樂に又安全に送る事
を望むものである。私か新様子を言及するのは過去の苦い記憶
を回想する爲めでもなければ、又將來に横はる問題を拡大し
憂ふるものでもなく、今迄の諸君の不愉快な經驗を押し除けて
諸君が過去に於て得た試練と現在に心情とを理解して居る事
を證明せんとするものであります。

私はWRA当局を代表するもう一つであり、又中央政府の代表者でもなつ。私は單なる判事であるが故に判事としての見地から總この方面に涉る考察する可きで、諸君の立場から又WRAの側から此の問題を觀察せねばならぬ。轉住所の生活は例へて充合理解を持つホッスマン氏や其の他の技術ある役員を管理下にあるとするも決して通常の生活ではない。それは只だ一時的なもので、貴方々は必ずしも其の戦時中所有生活の安全があるものと豫断した。併し太平洋沿岸に於ける日本人除外令に依る變更されたことがある。私はWRAの当局があらゆる問題を嚴密に考慮した結果決定し、今回の政策に帰結したものと信ずる。私は轉住所を豫定期日に閉鎖する決議案が是否に就ては論じない。それは可決された事実として容認せねばならぬ。貴方々は早晩再轉住せねばならぬ事は確実であり、又其の出所が出来るだけ速に実行する可き幾多の理由が充分あるをあります。

前述の如く諸君の生活は通常状態ではない。諸君は最も勤勉で且つ秩序整然たる人々である。其の事實は米国人に比して日本人犯罪率の最低記録に依るも立證される。諸君は之に據りて充分の自信を持ち光榮とする可きであります。

然し三年の所内生活は或る人々には逆習の弊を興へ、卒直に云へば或る種の人々には比較的怠惰は流れるに至つた。恐らく

それは失望と自制心を失ふ結果でもある。然し斯様な事は
国が回復出来る事柄であります。

而して問題は十八才以下の幼年の事であるが、所内の生活は
彼等の爲めにはどう見ても不自然である。彼等を是れ共米
入社會の潮流に国が合流させねばならぬ。日米が戦端を
交へて居る間、白人子弟の通学する学校に小供達を登校さ
せても親切な待遇は受けなでさう、故に寧ろ所内に留めて
日本人兒童を好理解する所内の学校に送るに然らず」と
その諸君が考へて居られる事は、私はよく承知して居ります。私は
其の可能性を輕視した、が、私の小供達が幼少の時代、加州の
学校に或る各通校させられた事がありますが、當時彼等は白人の
小供達と喜々として戯れ、何等人種的偏見を認める事が出
来なかつた事を私は記憶する。私は其の思ひ出深き日が
再来する事を望むであります。

思ふに現在の状態が緩和される方法が講ぜられるであろう。
先生達は日本人の学友達を帰還する事を生徒達に充
分解き聞せ、加州の地震に対し日系人が責任がたつと同様、
日米戦争勃発に対しも、全々彼等の責任の無い事を言ひ
聞かす可いがある。私は小供達にも大人にも彼等の行き先
於て詰責や侮辱を受くる様な事は無いと思ひます。友愛的な
人々は目下其の道を開きつゝあるうであります。且つこつや一臨
4)

暫は米國諸州、殊に加州を觀察旅行した結果、今日程米人が日米人を理解する時はなく、特に加州に於て然りと云ふ事をハート山轉住所の人々の話に事がある。外部の白人達は貴方々の性格に就ては、他の意見を受け入れざる已みで、何れか云へば無頓着な立場で万足して居るものがある。貴方々の子弟である勇敢な日米兵士の勳功に就ては全米の各新聞は口を揃へて特筆大書して居ると共に、他の事柄も暫時理解されてある。三年前我々は日本人は一世二世共に秘密的で陰險な人間で信用ならぬ人々であると聞かされた。然し私の知る範圍では日米市民間のサボタージュや日探り事件は只だの一件もなく、勿論不穩な行爲叩ち徴兵應募及対米事件はあったが、サボタージュではなかった。虐待や侮辱の真面目に尚ほ耐へ忍んぶ其の忍耐力、其の快活又協力精神は且て諸君を疑心の眼を以て視る多くの人々を征服したをみます。貴方々は右の類を打たる時、自ら左の類を向けた事によって諸君が豫待したかった收穫を得たをみます。然し、未だハースト紙やサン・オヴ・ゴールデンウエスト、或は在郷軍人團の或る分子の如き毒筆蜚語を流布する間は容易に解決出来ぬ事を知つて居ります。然し又他面では米國主義委員會やフェアプレイ、或は教會團體の如き愛友的團體が何れも活動を開始して居てあります。私は排日原因は人種的ではなく、経済的立場から来たる事を知つて居る。或る少数白人実業家や

百姓達は諸君を頑強と賢明な面と勤勉とに恐怖して居るものである。一億三千万の人口中僅に十三万人の日本人と経済的競争を恐れる人達が諸君が轉住所から出所する事を妨げんとするものである。彼等は威嚇に依り、或は恐怖心を喚起せしめ又も功妙な手段を試みるであろう。或る者は親切の忠告を與へて諸君が轉住所に留る様を助言するであらう。諸君の友人達がもし流言飛語を動これて轉住所に留る事を警告するかも知れない。

私は一千五百名の日系市民が既に加州に帰還した事を聞いて居りますが、少數の団体は諸君達が轉住所に留まる事を希望するに居るをある。何故かと云へば彼等は日本人の血を失ふ者を全部送還する議案を通過させ度いと望んで居るからである。無論斯る議案が通る見込はないが然し、

轉住所に集團して彼等の計畫に乘ることを諸君が求むる道は勇敢な氣風を以て加州に残る諸君の財産に取引する事である。特に農園を所有する人々は農業に還る可きである。貴方々各家庭にはそれと異な事情があるが、WRは当局は地方の社會部と連絡して援助に勤めるである。

今回の轉住所聯合各員會開催の際奈良原議長から轉住所住民中の三種類の人々が在る事を聞かれます。即ち、
一は経済的地盤を以て居て出所し様とする人々である。
斯様な人々は可成居るが環境の變化に對して不活動的で

あり、意に於て出所を躊躇し居る。オニのグループは出所し度いが、財政上の基礎がなく、老人で然も従属者がある爲め、出所しても少々の貯金は直ぐ浪費し盡す恐れを抱き居る人々である。其の種の人々が大部分を占めて居ると云ふ事である。オニ種の人は小教ではあるが、老衰、貧困者、病人等で、轉住所に躊躇留つて居り度いと云ふ人々である。

聯合委員会に於て轉住民に對して誰が責任があるかと質問されたるありますが、私の個人的意見としては「何もなからざる事」が出来ぬ。貴方々の家族を根底から引き離し、轉住所に連れ來つたのは米國政府である。それが賢策であるか否かは最早論ずる必要はない。諸君の損傷を出来る限り修理回復する事は無理道の責任である。其処に私が道德的責任である。と云ふ意味は政府が損害を賠償する法理的責任がある。事を疑ふからではありません。例へば大都市に大火災が生じた場合、其の火勢が擴大せし様周囲をブラクラの破砕を必要とする事がある。斯様な場合、破損された人は損害を要求する法律上の権利がない。それは社會上の緊急措置である。それと等しく國家の安全の爲め軍事上必要措置を講じて生じた損害に對して政府は法律上の責任はないのである。米國政府は墨國政府に對して没收せられた米國市民の損害賠償を外交交渉するが、其の政府が自國に於て没收と同様な損害を喰へん、自

自国民の損害を修復せず寧ろは政府の立場は稍と矛盾する事となる。

私は寧ろ平和が回復されれば曉る充分の調査を要求し損害に対する評價鑑定而して至当な請求をなし得る機会がある事を望み斯うものである。諸君は賠償の望を置く有利なる理由を持つか否か知らぬが、今日知れば望み得るもの。政府の機関である WRA は此の過渡期に於て諸君を援助する責任のある事を感して居るであります。戦時下にも拘らず米国人は一般的に見て無情ではなかつた。彼等は轉住民諸君の復旧更生に援助せんとして居るうであります。それは慈悲ではなく貴方々が当然受く可き特権である。故に私は第三種の人々を援助する件に就ては憂慮する大きな問題でなつと思ふであります。

真に重大な問題は第三種のグループの再轉住であります。此の人々は轉住の意思はあつたが、資力がなかつたのである。社會救済局 (Social Security) は再轉住に任用する基本金はある。私は其の基金が幾程あつて如何なる条件下に任用されるか付して明瞭ではないが、勿論それは調査すれば解る事である。更に地方の各種の金融機関例へば農事故済事務局や聯邦農業信用融資局 (Federal Farm Credit Agency) などがあつてある。

外部に出た人々からは色々な報告が来るであつたがそれ等の真偽は充分調べねばならぬ。又土地を所有しない人々や植付り

に連れ在る人々他人の農園に働く事も出来、現在農園働けし
る所に得られる殊に未知の地方に農園を経営せんとする人々は暫
く他人の農園に働きて其の土地の氣候の变化、土壤の狀態、
地價或は隣境を調べる事も賢策である。商業に経験
ある人々は所承知の如く現今貨幣價値は低下し銀行家資本
本家は有利な投資の機会を狙つて居る。例へば洗染業の
如きサービス事業は何でも出来る。あらゆる種類の事業に働
くを固守して居るに待て居る有様で先ず者は最良の機会
を得ると云つたのである。東部の大都市では戦前から米
国に在る日本入りに對しては全々敵愾心はなつてゐる。

或る地方又は都市に於て起業の可能性を調査、或は立退前
の場所に住宅を無き人々を爲め、又新しい方面に移住する人々の爲め
幹旋機関が設けられる可きで、それはWRAも必要に應じて各所に
設置するであらう。今日迄は三万四千人のセンター住民が出所して居
るが、大抵東部へ行くものも多く、西部は僅少である。彼等
三万人の人々が地方委員の中心となつて其の地方のWRAや社会
部と連絡して商業や農業方面への発展の機会或は住所を
探す便宜所を各地方に創出すべきである。

残念なことに、監督とは僅に一時間のみ意見を述べ、
詳細に見え交換が出来なかつた事を憾感するが、WRA当局は
直面する多くの問題を透視して、只忠告を述べざる已なからず、
7)

具體的な援護を附進する準備をして居らうである。私も今
の場合諸君が西部沿岸に團集せぬ様にする事が結構良
事だと思います。米国は大国である、僅に十三万人の日系を
擁する都市は東部に澤山あり、今僑胞心はなにかで
あります。

以上は私は貴方々の苦難を幻想甚と見てゐるあり
ます。何故かと云ふ例へ私が出来たとしても、辨事が話に今
の美言は何だとかと云ふ、拙い様で、村野の辨事から
冷めた後の気持ちの様な雄辨に迷はせたいのである。諸君
は實際的な面でも実力ある人々で、欲する如く雄辨であ
く、實際的な面でも常識ある忠言であると思ひます。
決して激昂的な行意など恐れはなからぬ。政府が諸君の
雨轉任に援助する責任があると共に、諸君自身を救ふ
為めにも当局に協力する義務があると思ひます。

契約法に原則として、或る人が契約を破棄した爲、相手の
人に損害を與へた時、被害者は自分の損害を出来るだけ
減輕させる様に努めねばならぬ事となつて居る。例へば、或る
人がホテルの野菜の供給を契約したとする。其の時若しホテル
の主人が其の野菜を拒絶した時、野菜屋は品物の腐敗を恐れ
て安下り他の方面に賣捌いてある。其の結果野菜屋はホテ

の契約値段と、他へ安價で賣り拂った総額の差額を示
えから要求す可きである。之れと同じ理屈で政府が諸君の
財産生活に損傷を與へたおいて、諸君を再轉せしめる
責任がある一方、諸君も自身の立場を救ふ爲め出来る
限りの努力をなす可きであります。

参事員會の事業はブロックの行政と云ふよりも再轉住
問題の要請に即應する爲め諸君が團結し、而して諸君
の氣持を失望から希望と勇氣へと轉換させる事であります。
諸君の望みある而して新しい試みと思ふ運に任せてやつて見る事を
御進めたいのである。貴方々の直面する苦難は貴方々自身の
内に潜んで居るかも知れない。

諸君の多くは立退き時の懐しの諸君のホウの諸君の事業、又
諸君の事などを思ひ起すてありませう、而して立退き時の困
れ其の苦い恨みの経験が今尚ほ諸君の記憶に新しい事と
思ふ、然し過ぎ去る事は過去と云ふ、其の呪ひの氣持を、諸
君の前途を暗くさせた事である。

諸君が轉住所で體經に其の勇氣を以て、今後轉住せ
んとする社會の新しい生活に邁進される度い。勇氣をなす人已が又
冒險的な人達已が日本に故郷に白髪や父母や又愛する自然族
を残して太平洋を横断し、此の慣れぬ米田に未だである。其処に
は困難と苦悶、偏見とが待っている居たのである。斯様な事は

諸君は成さねばならぬ事は必ずすべからう。互に相引を
相協力し、自分を助け、同時に政府から貰へられた種々の便宜も
利用する事に依つて必ず成功する事を信ずるべきであります。諸君
が再び繰り返す事を望むべく、諸君の多くの趣味ある経験
を貰へるものとて、諸君の人生の一頁を顧みるのであらうと私は
信ずる。然り、人生それ自身が冒険である。決して恐れには
ならぬ、諸君の子弟が戦場で現れてあるあり果敢な面力
を以て望むならば、決して其処には失敗はなつてあります。

私は敵性外人調査院及びWRA当局に任務する一人であ
るが、諸君の感ある処、諸君の問題とする処は相当理解して居る
積りであります。私の出来る事は何でも援助したと思つて居ます。
私は諸君が勇敢に前進し、諸君が持つ居る昔日の獨立獨
歩の其の精神と自信とを以て、今一度米國社會の潮流に合
流される事を所望するであります。之の努力に於て私は常に
諸君と共に在り、全心身を傾投して以て諸君の爲めに奮
盡せんと思ふのであります。

Visit of Dr. Nelson E. Viles
WRA Education Consultant
Washington Office

Central Utah Project
April 1 - 5, 1945

H 1.38
Mr. Niess

YZ 7

Monday April 2

8:30 - 9:30 a.m.

Meeting with Project Director and other
Administrative Officials. Superintendent
Noble in charge.

10:00 - 12:00 a.m.

Meeting with the Superintendent of Education
on overall closing procedures in the Education
Section. Superintendent's Office, Community
Auditorium. Dr. Noble in charge.

1:00 - 3:45 p.m.

Meeting at the Topaz High School with Dr.
Bane and Miss Gerard on student records
and secondary school reports. Dr. Bane
in charge.

4:00 - 5:45 p.m.

Community Management staff meeting. Mr.
Sanford's Office. Mr. Sanford in charge.

Tuesday April 3

8:00 - 10:00 a.m.

Meeting with Dr. Bane, Mr. Bishop on Property
Procedures. Mr. Bishop's Office. Dr. Bane
in charge.

10:00 - 11:15 a.m.

General discussion on Property Procedures and
control with all section and unit heads
in Superintendent's Office. Dr. Noble in
charge.

11:20 - 12:00 a.m.

Attend Project Director's Meeting

Robins to
attend

1:00 - 5:30 p.m.

7:00 - 9:00 p.m.

Visit the Adult Education and Vocational Program. Mr. Carmichael in charge.

Wednesday April 4

8:00 - 12:00 a.m.

Visit the Topaz High School. Br. Bane in charge.

1:00 - 3:00 p.m.

Visit the Elementary School

3:30 - 5:30 p.m.

Education Staff Meeting, High School Library. Superintendent Noble in charge. Dr. Viles speaker on subject: "The Teachers Responsibility in the Project Closing Procedure" General Discussion.

Thursday April 5

8:00 - 9:00 a.m.

Meeting in the Superintendent's Office with unit and committee heads on summary and recommendations. Dr. Viles

9:15 - 10:00 a.m.

Meeting with the Project Director

10:00 - 12:00 a.m.

Open

RECEPTION & INDUCTION PROGRAM FOR HAWAIIAN EVACUEES

1. Drum & Bugle Corps reception at entrance gate.
(Topaz Boy Scouts--Mr. Keigo Inouye, Mr. Ichiro Sasaki and Mr. Frank Maruoka)
2. Welcome signs and banners: "HELLO HAWAII", "HOW ARE YOU HAWAII", "WELCOME TO TOPAZ CITY", "THIS IS YOUR NEW HOME", etc.
(Art Production Staff--Mr. Kimio Obata)
3. Decorations of Dining Hall #1: already decorated with colorful crepe paper for "Spring Informal Dance" set for March 6th; will add scenes of Hawaii.
(Art Production Staff--Mr. Kimio Obata)
4. Arrange to make crepe paper leis; these are to be worn by the receptionists and the members of the appointive staff.
(Rec. Halls #10, #20, #34, #36, Handicraft Division and Hawaiian girls)
5. Public address system and turntable at place of registration; Hawaiian and American musical background to be provided.
(Sound Engineer: Mas Iyama)
6. Boy Scouts to act as guides and ushers.
(Topaz Boy Scouts--Mr. Keigo Inouye)
7. Mass Welcome Meetings at night in Dining Hall #1.
 Tentative Program:
 1. Pledge of Allegiance
 2. Invocation
 3. "America"
 4. Opening Message
Tsune Baba, Chairman
 5. Speakers:
 - a. Mr. C. F. Ernst
 - b. Others
 - c. Response by members of Hawaiian delegation
 6. Introductions
 7. Entertainment
Frank Matsumoto, chairman
(a few select numbers)
 Notes: Backdrop to be made--large map of Topaz.
Drum & Bugle Corps to parade before rally.
8. Entertainment and Pep Rally to be sponsored three days after arrival.
9. Official tour of center to be guided by Topaz Boy Scouts a few days following arrival.

2-2-2-2-2-2

10. Plans for a social and for church services for this incoming Hawaiian group are being made.

Submitted by Kimio Obata,
CAS Chairman for Exemption
and Induction.....3/5/43

KO:mk